

平成 30 年 5 月 29 日

富山県美術館企画展

## 第 12 回世界ポスタートリエナーレトヤマ 2018 第一次審査会の開催について

富山県美術館では、企画展「第 12 回世界ポスタートリエナーレトヤマ 2018」の第一次審査会を、5 月 31 日(木)、6 月 1 日(金)、富山県美術館 2 階 展示室 2, 4 にて開催します。

### 1 内容

富山県美術館では、3 年に一度開催する日本で唯一のポスターの国際公募展「第 12 回世界ポスタートリエナーレトヤマ 2018」(会期：2018 年 8 月 11 日～10 月 8 日) の入選作品を決定する第一次審査会を下記の通り開催します。

つきましては、このことについて、取材いただきますよう、お願いします。

### 2 応募点数(仔細は当日公表します。)

総応募者数：約 1,100 名 (A、B 部門約 900 名、U30 部門約 200 名)

総応募点数：約 3,200 点 (A、B 部門約 2800 点、U30 部門約 400 点)

### 3 日時、会場等

日 時 5 月 31 日(木)、6 月 1 日(金) 午前 9 時半～午後 5 時

\*取材される場合は、5 月 31 日(木) 午後 1 時半～3 時をお願いします。

会 場 富山県美術館 2 階 展示室 2、4

(富山市木場町 3-20 電話 076-431-2711)

### 4 第一次審査員(50 音順)

浅葉克己、色部義昭、藤崎圭一郎、松永真、三木健、渡邊良重、雪山行二

### 5 審査発表

第一次審査(入選作品決定) 6 月上～中旬 \*後日、改めて期日をご連絡します。

第二次審査(入賞作品決定) 8 月上旬

※ 審査員略歴および、展覧会の詳細については、添付の要項等を参照ください。

## 開催要綱 富山県美術館平成 30 年度企画

### 第 12 回世界ポスタートリエンナーレトヤマ 2018 (略称=IPT2018 )

1. 名 称 第 12 回世界ポスタートリエンナーレトヤマ 2018 (略称=IPT2018 )

#### 2. 概 要

この展覧会は、世界のポスターデザインの現況と成果を概観するため、作品を国際的に公募・選抜して展示公開するものです。日本で唯一の国際公募によるポスター展であり、トリエンナーレ (3 年に一度開催) としての歴史を重ねて、今回は第 12 回を迎えます。前回の公募では、世界 57 の国と地域から、3,845 点もの優れたポスター作品が寄せられるなど、最高水準の公募展として、世界 5 大ポスター展の一角に数えられるまでに成長しました。

富山県立近代美術館から、新築された富山県美術館に会場を移す今回の第 12 回展においても、引き続き国際的に活躍する内外のグラフィックデザイナー等を審査員に迎えて、入選・入賞作品が選出されます。世界的に注目を集めるこの公募に対し、今回も世界各国の著名デザイナーから意欲ある学生まで、幅広い層から 3,000 点を超える応募が寄せられました(公募は 5 月 10 日に締切)

また今回からは、学生や若手デザイナーのポスターへの関心を高める U30 部門を新設しました。会期中、富山県美術館では全入選作品と審査員作品を一堂に展示する予定です。

3. 開催期間 平成 30 年 8 月 11 日 (土) ~10 月 8 日 (祝・月) ※受賞式、開会式は 10 日午後予定

4. 会 場 富山県美術館 展示室 2、3、4

#### 5. 後 援

公益社団法人 日本グラフィックデザイナー協会 (JAGDA)

東京アートディレクターズクラブ (TOKYO ADC)

東京イラストレーターズ・ソサエティ (TIS)

東京タイプディレクターズクラブ (TDC)

「ポスターの街・とやま」実行委員会

6. 協 力 YKK 株式会社

#### 7. 審査員、実行委員

【実行委員】(五十音順) 浅葉克己、色部義昭、勝井三雄、藤崎圭一郎、松永 真、雪山行二

【第一次審査員】審査は、5 月末~6 月上旬実施予定

(五十音順) 浅葉克己、色部義昭、藤崎圭一郎、松永真、三木 健、渡邊良重、雪山行二

【第二次審査員 国際審査員】審査は、8 月上旬実施予定

メルヒョール・インボーデン(スイス)、ピオトル・ムオドゼニエツ (ポーランド)

浅葉克己 (日本)、松永 真 (日本)、三木 健 (日本)

8. 公募の詳細は、右記ウェブサイトにて引き続き公開しております <http://tad-toyama.jp/ipt>

#### 問い合わせ先・担当

富山県美術館 副主幹 稲塚 展子 / 学芸員 遠藤亮平 / 学芸員(嘱託) 笠井 大介

富山県美術館 〒930-0806 富山市木場町 3-20

TEL : 076-431-2711 FAX : 076-431-2712 E-mail : [hiroko.inazuka@pref.toyama.lg.jp](mailto:hiroko.inazuka@pref.toyama.lg.jp)

## IPT2018 第一次審査員(入選決定)、第二次審査員(国際審査、賞決定)

### 【第一次審査員(50音順) (全応募作品から入選作品(展示作品)を選抜する審査)】

#### ○浅葉 克己 (あさば かつみ)

IPT2015～実行委員

IPT' 91, 94, 2012～第一次審査員、

IPT2015 第二次審査員(国際審査)



1940年神奈川県生まれ。桑沢デザイン研究所、佐藤敬之輔タイポグラフィ研究所、ライトパブリシティを経て、1975年浅葉克己デザイン室を設立。以後アートディレクターとして、日本の広告デザインの歴史に残る数多くの作品を制作。代表的な仕事に、民主党ロゴマーク、西武百貨店「おいしい生活」、サントリー「夢街道」、武田薬品「肉体疲労にAじゃないか」、ミサワホーム「ミサワ デザイン バウハウス」など。中国に伝わる生きている象形文字「トンパ文字」に造詣が深い。東京TDC賞、毎日デザイン賞、日本アカデミー賞最優秀美術賞、東京ADC賞グランプリ、亀倉雄策賞、紫綬褒章など受賞歴多数。AGI会員、東京TDC理事長、JAGDA会長、東京ADC委員、桑沢デザイン研究所所長、東京造形大学・京都精華大学客員教授、日本卓球協会参与。卓球と書道は趣味の域を超える。卓球は六段の腕前。

#### ○色部 義昭 (いろべ よしあき)

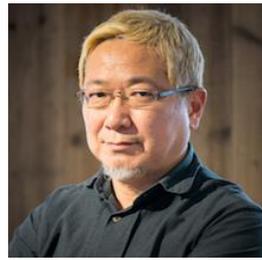
IPT2018 実行委員



1974年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院修士課程修了後、株式会社日本デザインセンターに入社。原デザイン研究所を経て、2011年色部デザイン研究室を開設。主な仕事にOsaka MetroのCI。市原湖畔美術館のVIとサイン計画、TAKEO PAPER SHOW 2011「本」や中房総国際芸術祭いちほらアート×ミックスのデザインディレクション、リキテックスガッシュアクリリック+のパッケージデザインなど、グラフィックデザインの技術と編集的な視点を軸に平面から立体、空間まで幅広くデザインを展開。SDA、JAGDA、東京ADC、D&AD、One Show Designなど国内外のデザイン賞を受賞。AGI、東京ADC、JAGDA会員。東京藝術大学非常勤講師。富山県美術館の開館においては館内サイン計画のデザインを担当した。

## ○藤崎 圭一郎（ふじさき けいいちろう）

IPT2018 実行委員



1963年横浜生まれ。デザイン評論家。1990～92年『デザインの現場』編集長を務める。1993年より独立。雑誌や新聞にデザイン、建築に関する記事を執筆。

2010年より東京藝術大学美術学部デザイン科准教授、2016年より同大学教授

## ○松永 真（まつなが しん）

IPT2009～実行委員

IPT' 91～97、2003～第一次審査員、

IPT2006、2012 第二次審査員(国際審査)



1940年東京生まれ。1964年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。資生堂宣伝部を経て、1971年松永真デザイン事務所設立。PEACEのポスターをはじめとする一連の平和ポスター、ヒット商品のスコッティやカンチューハイ、ウーノなどのパッケージから、ベネッセ、ISSEY MIYAKE、国立西洋美術館などのCI計画、大ベストセラーとなった日本国憲法のブックデザインまで、グラフィックデザインを中心に幅広い分野で活躍中。正攻法でありながら、シンプルで鋭い衝撃力を持つデザインが注目されている。ニューヨーク近代美術館、ヴィクトリア&アルバート美術館など国内外89カ所の美術館等に作品収蔵。ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ金賞・名誉賞、毎日デザイン賞、芸術選奨文部大臣新人賞、日本宣伝賞・山名賞、モスクワ・ゴールデンビー賞、イコグラダ大賞、N.Y. ADC 銀賞、紫綬褒章、亀倉雄策賞、原弘賞、東京ADC会員賞など受賞多数。AGI（国際グラフィック連盟）会員、東京ADC委員、JAGDA理事、日本デザインコミッティー理事。

## ○三木 健 (みき けん)



1955年神戸生まれ。1982年三木健デザイン事務所設立。ブランディング、アドバタイジング、パッケージ、エディトリアル、空間など 様々なフィールドにおいて情報を建築的にとらえる発想で 五感を刺激する物語性のあるデザインを展開。近年、学びをデザインするプロジェクトAPPLEを展開。その内容を紹介する書籍をスイスのLars Müller Publishers(スイス)より出版。パーマネントコレクションにサントリーミュージアム、富山県美術館、Museum für Kunst und Gewerbe / Hamburg、The Chicago Athenaeum / Chicago など国内外多数。主な受賞に JAGDA 新人賞、日本タイポグラフィ年鑑グランプリ、東京 TDC 銅賞、IPT2006 銀賞、NY ADC 奨励賞、亀倉雄策賞など。AGI 会員、JAGDA 理事、大阪芸術大学教授。

## ○渡邊 良重(わたなべ よしえ)



1961年山口県生まれ。山口大学卒業。1986年宮田識デザイン事務所(現・ドラフト)入社。植原亮輔と共に2012年にキギを設立。グラフィックデザインの他、現在もドラフトのプロダクトブランド「D-BROS」のディレクターを務めながらも、糸井重里氏が主宰する「ほぼ日」と洋服のブランドCACUMA('13年～)を、さらに滋賀県の伝統工芸の職人たちと、陶器・家具・布製品などのブランドKIKOF('14年～)を立ち上げた。また、デザインワークの流れの中で作品制作をし、展覧会を行っている。'15年に東京・白金にキギの生み出すデザイン製品等を販売するショップ&ギャラリー「OUR FAVOURITE SHOP」をオープン。絵本『BROOCH』(文・内田也哉子)、『ジャーニー』(詩・長田弘、ジュエリー・菌部悦子)、『UN DEUX』(文・高山なおみ)、『ぬりえの赤ずきん、くるみ割り人形、不思議の国のアリス』(文・安藤隆)、および作品集『キギ/KIGI』『KIGI\_M』をリトルモアより刊行。東京ADCグランプリ、D&AD金賞、ONE SHOW金賞、NYADC金賞などを受賞。

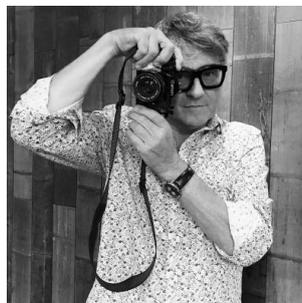
## ○雪山 行二(ゆきやま こうじ)

IPT2018 実行委員、富山県美術館館長

## 【第二次審査員（国際審査。入選作品(展示作品)からグランプリ以下各賞決定の審査)】

### ○メルヒョール・インボーデン（スイス）

Melchior Imboden



ルツェルン美術大学でグラフィックデザインを学ぶ。ミラノとバーゼルで研鑽を積んだのち、チューリヒで活動を開始。ポスター、ブックデザイン、写真等の領域で活動を展開。1994 ブルノでの金賞、1996 ゴールデンビー銅賞をはじめ、NY. TDC、東京 TDC、ショーモン等主要なポスター、グラフィックデザインのコンペティションでの受賞多数。2001～2003 はカールスルーエ、2003～2006 はベルリンの UdK において客員教授を務める。IPT2000、2009 で銅賞受賞。

### ○ピオトル・ムウオドジェニェツ(ポーランド)

Piotr Mlodozieniec



1956 年、ワルシャワ生まれ。76～81 年、ワルシャワ造形美術アカデミーに学び、81 年にヘンリク・トマシェフスキ教授のスタジオでポスターデザインの学位を取得。93 年にフランス・ショーモンのポスターフェスティバルでグランプリ。98 年ワルシャワの第 16 回ポスタービエンナーレ銀賞。IPT1994、2009 で銅賞受賞。

○浅葉 克己(実行委員、第一次審査員) ※略歴等は第一次審査員の一覧を参照ください。

○松永 真(実行委員、第一次審査員) ※略歴等は第一次審査員の一覧を参照ください。

○三木 健(第一次審査員) ※略歴等は第一次審査員の一覧を参照ください。